

## 会員だより

### 技能実習生と共に歩んだ 9年間の軌跡と絆

技能実習生の受け入れを開始し、今年で6期生、累計13人の仲間と共に汗を流してきました。右も左もわからない異国の地・日本にやってきた彼らですが、今では欠かせない大きな戦力となっています。

当社が最も大切にしているのは、安全と成長です。来沖後はまず社内で徹底した安全教育を実施し、現場でも職長から作業手順を丁寧かつ入念に指導する体制を整えています。こうした地道な教育の積み重ねが、今日までの「無事故」という素晴らしい成果に繋がっています。

業務外でも他業者の実習生を招いたBBQを開催するなど、孤独を感じさせない積極的なコミュニ



ローラー運転

### 有限会社 牧野建設 代表取締役 高原 康彦

ケーションを大切にしてきました。こうした温かい環境が実習生の心に響き、修了した13人のうち2人が「特定技能」として再び当社に戻ってきてくれることになりました。

一度母国へ帰っても「またここで働きたい」と思える信頼関係が築けていることは、当社の技術指導と人間味あふれる交流が正しかったことの証です。これからも、互いに支え合いながら安全第一で現場を盛り立てていく良きパートナーとして、共に歩んでまいります。



誕生日

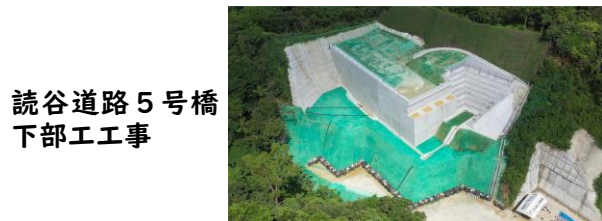
【取締役管理部長 佐々木 豪忠】

### 牧港建設 株式会社 代表取締役社長 山田 浩邦

現在僕は県発注の大型橋梁工事の現場代理人を任せられており、技術員時代では見えなかった視点や楽しさ、そして大変さに日々がきながらも、一人前の技術者になるために現場チームのメンバーと助け合いながら、一步一步進んでいこうと思います。  
【工事部 新田 優斗】



名護東道路数久田  
IC地盤改良工事



読谷道路5号橋  
下部工工事

## 活動報告・トピックス

### 企画・広報委員会コーナー

### シーミー（清明祭）文化 の変遷

会員の皆様、何時も御世話になっております。

先月、伝統行事「シーミー（清明祭）」が執り行われたと思いますが、昨今、ライフスタイルの変化により『墓守、跡継ぎ』がないといった悩みで、墓じまいが増えていると、ニュースで知りました。墓じまいとは終わらせる作業ではなく、次世代の家族・親族の負担を減らし、心の整理につなげるための選択肢の一つだと理解しています。

このような現代のニーズに応え、注目を集めているのが管理型霊園の利用や永代供養などCMが増えていると感じており、自分たちの状況に合った形を考えることが大事だと思います。

墓前に親族が集い、重箱を囲み、絆を深める場とされてきた沖縄を象徴する文化ですが、お墓の形が変わっても、工夫次第で宗家（実家）などに親族が集まって先祖様への感謝を述べたり、思い出話などで温かい時間を過ごす事で、シーミー（清明祭）の本質は変わらないと思いを継ぎたい文化です。



【企画・広報委員会 委員長  
株式会社丸政工務店 専務執行役員 大城孝雄】

## 今月(5月)の予定

- ①第1回技術・積算委員会  
5月14日(木)11:00～13:00支部会議室
- ②第1回安全委員会  
5月15日(金)11:00～13:00支部会議室
- ③第234回道路美化・清掃活動（ボランティア）  
5月19日(火)10:00～11:30明治橋周辺国道
- ④第1回企画・広報委員会  
5月28日(木)11:00～13:00支部会議室
- ⑤第1回災害対策委員会  
5月29日(金)11:00～13:00支部会議室

### 【参考】

- 道建協沖縄支部定時総会  
6月5日(金)16:00～17:00 ナハテラス
- 懇親会 17:30～19:30

### 第233回道路美化・清掃活動 （ボランティア）



4月21日(火)10:00から、気温約21度(天気晴れ)で好天に恵まれた中、23名/18社が参加して、ボランティア清掃活動を元気に無事終えました。

ご多忙の中ご参加頂いた皆様 お疲れ様でした! ありがとうございます。  
次回も宜しくお願い致します。

ゴミの処分は各人がルールを守り、道路を大切に使用しましょう!

## 協調から尊敬へ

道建協会員の皆様、こんにちは。今回は高校卒業後、新卒で入社し今年で9年目の僕が改めて学んだことについて紹介したいと思います。

最初に配属された名護東道路の現場は草木で広がっており、降雨時は物凄い濁流が流れ検討や対策を繰り返し、先輩方に教えてもらいながら専門用語を覚える日々でした。

そんな中7年目の頃、読谷道路を延伸するための橋台築造工事に配属されました。そこでは監理技術者補佐の立場で従事することになり不安でいっぱいでしたが、自分が今までしてきた経験、そして一緒に働く職員と助け合いながら竣工を迎えることができました。そこで改めて学んだことがあります。それは、現場で必要なのは自分一人の能力だけではなく、チームで協調し合うことです。現場は自分一人でこなすことは不可能で、協力してくれる人がいて成り立つものだと思います。その感謝を忘れないことが他者への尊敬や協調につながるのだと学びました。